

令和7年度 第1回 栄養部会 研修報告書

記載者 介護老人保健施設
老健ふなき 櫻庭 育世

■開催日時

令和7年8月8日（金）10：00～15：00

■開催場所

山口県セミナーパーク 研修202室

■参加者数

33施設 36名

【研修内容】

◎10：00～12：00 基調講演

演題：「脳と嚥下」

講師：認定言語聴覚士 高岩 亜輝子 氏

（質疑応答も含む）

- ・脳の基本的な機能について
- ・嚥下障害に関わる疾病について
- ・誤嚥性肺炎の予防について
- ・嚥下評価方法について など

〈所感〉

高齢者の食事摂取については、以下のような多面的な視点から情報を収集することの重要性を再認識した。

- 1, 身体所見（姿勢、筋量、栄養状態、採血データなど）
- 2, 神経学的所見（意識レベル、高次脳機能、ADL自立度など）
- 3, 既往歴（誤嚥性肺炎の既往歴、頸部手術歴、神経・筋疾患歴など）
- 4, 生活背景（かかりつけ歯科医の有無、人的支援など）

これらの情報を基に、現状の課題の根拠を明確化し、多職種で連携しながら支援していく必要性を強く感じた。また脳と嚥下が密接に関わっていることを知り、食事動作全般に脳の機能が影響している可能性も含め利用者様やご家族様の思いに寄り添いながら関わっていきたい。

◎13：00～14：00 摂食嚥下に関する質疑応答

(事前アンケート15項目を講師が回答)

〈主な質問内容(抜粋)〉

- ・嚥下障害のある認知症の方への評価、観察ポイント、食事介助、支援ポイント
- ・食事形態変更の際、どのくらいの期間観察して変更するのが適切か など

◎14：00～15：00 グループワーク

(事前にアンケートを基に6人程度でグループ討議)

〈主なテーマ(抜粋)〉

- ・食事形態をアップする根拠は
- ・LIFE(科学的介護情報システム)の入力に関する実務面での悩み など

〈所感〉

事前アンケートの質問内容を一覧にして各テーブルへ配布したことで、活発な意見交換が行われた。他施設の工夫や課題を共有できる貴重な機会となり、今後の業務改善のヒントを多く得ることができた。

【総括】

高岩先生には講演および質疑応答において、現場に即した貴重な資料と知見をご提供いただき、参加者にとって非常に学びの多い研修会となった。

また、事前に質問や困りごとを収集し、当日へつなげる形式をとったことで、実りある意見交換と深い理解につながったと感じる。

本研修の開催にあたり、ご尽力いただいた事務局の皆様、栄養部会役員の皆様に心より感謝申し上げます。

以上、研修報告と致します。

